

# 平成29年度

地域力を生かした産業の創造・育成  
～地域産業の振興に向けた取組を紹介します。～

青森県商工労働部地域産業課

## <経営支援グループ>

- 中小企業の経営相談・経営診断
- 中小企業の総合支援
- 自動車関連産業の振興

# 《中小企業の診断①》

## 高度化事業に係る診断

住工混在の解消や街の活性化を目的とする中小企業等の集団化、集積整備などの実施にあたり、中小企業基盤整備機構と一体になって貸付及び運営に係る診断助言を行っています。

### 集団化事業

市街地などに散在する工場や店舗などを、生産性や効率性向上、異業種との連携などのため、一つの区域や建物にまとまって移転するもの  
【28年度診断実績6件】



### 集積区域整備事業

商店街もしくは工場などが集積している区域で、建物の建て替えなど区域全体を整備するもの  
【28年度診断実績4件】



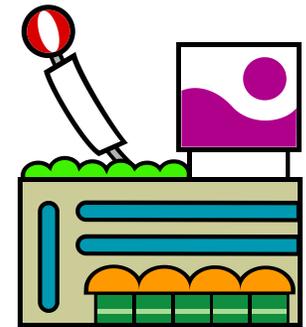
### 共同施設事業

共同で利用・経営する加工施設や研究開発施設、物流センター、商店街のアーケード・カラー舗装、駐車場などを整備するもの【28年度診断実績1件】



### 施設集約化事業

店舗が集まりショッピングセンターを、また工場を集約化して共同工場などを整備するもの。  
【28年度診断実績3件】



## 《中小企業の診断②》

### 小規模企業者等設備導入資金の貸付診断と事後の助言

「小規模中小企業者等設備導入資金助成法」に基づく貸付を受けようとする中小企業者を対象にした診断や貸付を受けた中小企業者を対象とした事後の助言を行っています。

【平成28年度実績】 事後助言4件



### 戦略的経営展開マニュアルの作成・配布

企業が抱える様々な経営課題を解決し、新たな市場開拓等の戦略的な経営展開を図るための支援の一環として「戦略的経営展開マニュアル」を作成と県内中小企業者への配布を行っています。【平成28年度】 小規模事業者経営展開事例集

# 《中小企業の診断③》

## 生産性向上による労働力減少対策事業(食品工場診断)

原材料価格高騰により県内企業の収益性が悪化している中、特に、食料品製造業では価格(掛け率)がネックになり販路が限定されるなど生産性の改善が課題となっています。平成27年度末には絶好のビジネスチャンスである北海道新幹線開業を迎え、その効果を最大限享受するため、食品工場を対象とした工場診断を行い、県内食料品製造業の生産性向上による競争力の強化を集中的に支援します。

### 【現状と課題】

- 原材料価格の高騰による収益性の悪化
- 食料品製造業の製造品出荷額に対する付加価値額の割合は東北最下位(工業統計調査)
- 価格(掛け率)がネックになり販路が限定される例が多い
- H27年度末北海道新幹線開業は絶好のビジネスチャンス
- 県産品のブランド化や、商品開発、販路開拓等に加え、コストに着目した商品価値向上による競争力向上が必要

“生産性”に着目した食料品製造業の収益力向上が必要

### 【事業内容】

#### 工場診断事業(⑳㉑)実施)

経営コンサルタントによる幅広い着眼点に立った工場の調査・分析を行い、改善提案を実施する。■診断企業数:⑳ 5社㉑ 3社㉒5社(予定)

#### ＜診断の着眼点(例)＞

- 5S  
整理・整頓・清掃・清潔・躰が徹底されているか
- ラインバランシング  
生産の流れはスムーズか(各工程の所要時間の均衡)
- 工程分析  
工場のレイアウトは効率的か(運搬経路の短縮等)
- 動作研究  
効率的に作業が行われているか(作業のムダ取り)
- 品質管理  
不良品を発生させている工程がないか(統計的手法の活用)

⇒各企業において改善に取り組み、改善効果の有無を実証する。

### 【事業効果】

県内食料品製造業全体の生産性向上に向けた取組の促進

競争力の向上  
販路拡大

本県の強みである  
「食」の一層の強化

地域経済の活性化

# 《中小企業の支援①》

## 経営革新計画の承認制度

中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業者が作成した経営革新計画の作成支援や計画に対する承認を行っています。【承認件数 平成27年度1件、平成28年度15件】

### 【平成27年度】

①株式会社ケアスマイル青森

### 【平成28年度】

①株式会社ひらの洋服店

②太洋舎商事株式会社

③北日本産業株式会社

④株式会社あおもリデンタルサポート

⑤有限会社秋田商店

⑥有限会社二階堂

⑦有限会社HIG

⑧弘前ガス株式会社

⑨株式会社スーパーストア

⑩ミリオン株式会社

⑪株式会社高昇興業

⑫有限会社カメラのみなみや

⑬やまはた整骨院 山端祐樹

⑭株式会社テクトリー

⑮株式会社三上材木店



- ・商工会、21財団、県等の経営革新計画の作成支援
- ・県の承認に基づく低利融資制度等の活用により中小企業の活性化と雇用の拡大を図る

# 《中小企業の支援②》

## 総額 約100億円の基金による支援

総額 約100億円の基金を活用し、青森県が有する地域資源や人財、ローカルテクノロジー等を活かして産業の振興と雇用の創出を図ります。



ブナコを活用したスピーカー

### あおもり元気企業チャレンジ助成事業

- 創業・中小企業者等の経営革新等の新たな取組を支援します。
- H19～H28の実績(累計) 230件 約4.8億円

元気企業  
チャレンジ  
助成事業

(公財)21あおもり  
産業総合支援センター



十和田おいらせ餃子

### あおもり農商工連携助成事業

- 中小企業者等と農林漁業者が連携し、県産農林水産物等を活用した商品開発などの取組を支援します。
- H21～H28の実績(累計) 97件 約1.9億円

意欲ある創業者・  
中小企業者  
に対する助成・  
投資・ハンズオン  
による支援

あおもり  
クリエイ  
ティブ  
ファンド

フューチャーベンチャー  
キャピタル(株)

あおもり  
農商工連携  
助成事業

(地独)青森県  
産業技術センター

ozupadAIR



テーブルを  
必要としない  
新感覚  
モバイルマウス

### あおもりクリエイティブファンド

- 株式上場を志向する成長企業等に対し、投資資金を提供するとともに、関係機関が一丸となったハンズオン支援を行います。
- H19～H28の実績(累計) 23件 約13億円

# 《中小企業の支援③》

## ワンストップサービス

県では、公益財団21あおもり産業総合支援センターを通じて、創業、経営革新、取引推進及び小売商業支援など、中小企業に係る一貫した支援を総合的に行っています。

### 総合相談

中小企業の経営に関する総合相談窓口として、専門的知見等を有するコーディネーターが無料で相談に応じています。  
【平成28年度実績】 相談件数 4,213件

### 専門家派遣

中小企業診断士、税理士、デザイナー、ITコーディネータなどの経験豊富な民間の専門家を、中小企業者等からの派遣要請を受けて現地に派遣し、必要なアドバイスを行います。  
【平成28年度実績】 派遣企業数 11社(延べ45日)

### 取引あっせん

県内中小企業の取引を推進するため、あっせんや商談会を開催しています。  
【平成28年度実績】 あっせん紹介件数 95件

# 《中小企業の支援④》

県では、ビジネスチャンスの獲得を契機とした本県中小企業の更なる成長を促進するため、21財団にビジネスサポートステーションを設置し、商いの出口である「売ること」に対する支援の充実・強化を図っています。

## ビジネスサポートステーション

創業～新商品開発支援

県内企業の販路開拓、取引機会の拡大  
～ “出口支援の強化”へ～

### 経営全般に関する支援

よろず支援拠点

コーディネーター・サブコーディネーター(8名)

県コーディネーター(6名)

### 創業に関する支援

インキュベーションマネージャー(3名)

### 〈個別プロジェクト支援〉

産学官のマッチング・連携等支援

オープンイノベーション推進コーディネーター(1名)

ものづくり企業の現場力強化支援

現場力強化アドバイザー(1名)

販路アドバイザー  
(3名)

発注開拓推進員  
(1名)  
東京駐在

各種商談会の  
開催、出展

大手企業への  
売り込み

### ☆ ビジネスマッチング(外部委託)

- (対象者) 県内に本社又は事業所を有する中小企業者
- ①販路開拓に係る様々なネットワークを有する法人を通じた、首都圏企業等との個別ビジネスマッチングの機会を提供。
  - ②首都圏からバイヤーを招聘し個別商談会を実施。  
(平成28年度の例)
    - ・(株)高島屋
    - ・旭食品(株)
    - ・(株)小田急百貨店
    - ・(株)星野リゾート(星野リゾート青森屋)

### ☆ 販路開拓、取引拡大に対する助成

〈助成額〉 上限500千円(補助率1/2)

〈対象経費〉 商談会出展経費(ブース料、商品等送料、交通費等)、販売を目的としたHP立上げ経費、首都圏等への新規営業拠点設置初期費用・賃料等

# 《自動車関連産業の振興》

県では、自動車関連産業集積に向けて、地場企業の支援と積極的な企業誘致に取り組むとともに、必要な人材の育成に取り組んでいくため、平成20年1月に「青森県自動車関連産業振興戦略」を策定しました。

**1 地場企業の育成・強化**

- (1) 支援体制の強化
- (2) 経営力の強化
- (3) 取引拡大
- (4) 技術力の強化

企業のスキルアップを支援する専門人材  
 ・北東北3県アドバイザー  
 ・青森県ものづくり産業振興アドバイザー

**2 企業誘致活動の強化**

- (1) 戦略的な企業誘致の推進
- (2) 新たな環境社会形成に対応した企業誘致

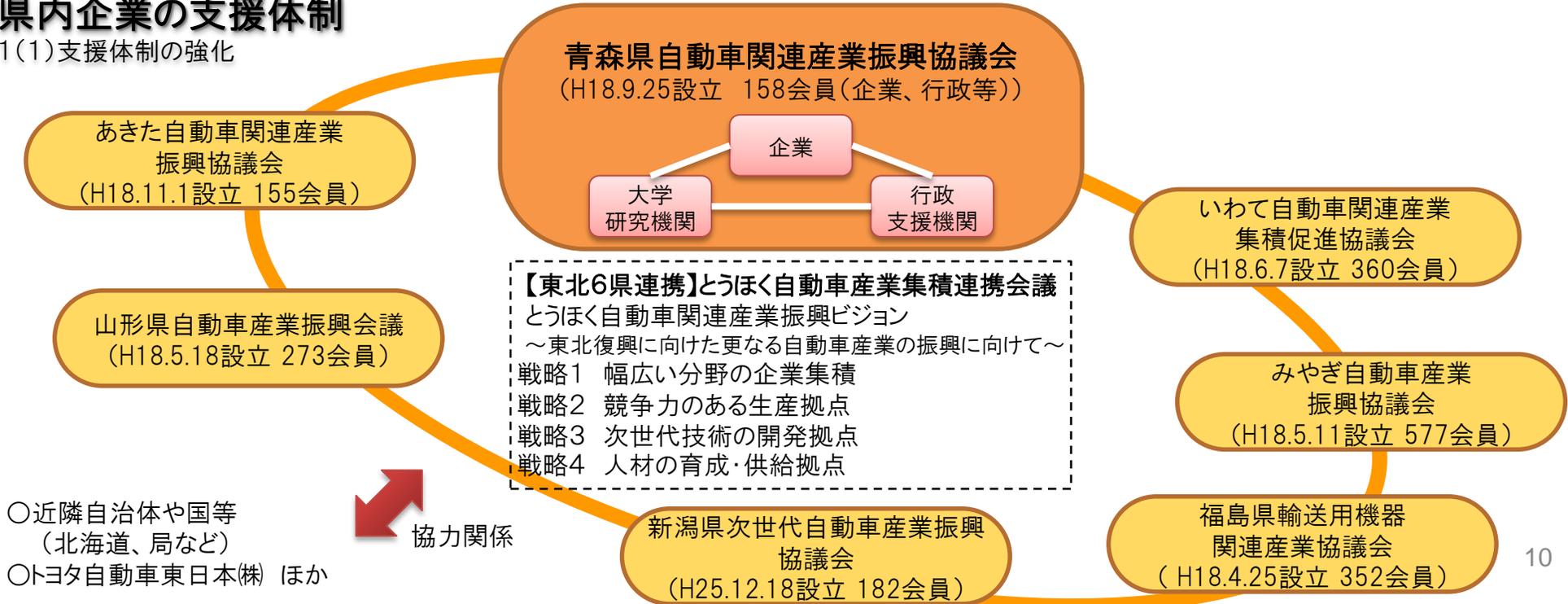
【ターゲット産業】 自動車、農工食品、情報通信、環境・エネルギー、医療・健康・福祉

**3 人材の育成・強化**

- (1) 基盤技術者の育成
- (2) 既存人材育成事業を更に自動車関連産業人材育成向けに活用・強化

## 県内企業の支援体制

### 1(1) 支援体制の強化



## 「機械構造研修 in 八戸」、「機械構造研修 in 弘前」の開催

自動車ものづくり関連産業への参入や自社技術を活かした製品開発を目指す県内企業を対象に、元トヨタ自動車(株)の開発担当者を講師として、燃料電池自動車の構造を中心とした講義、分解車両を使用した解説などを実施しました。

日時 <八戸会場>平成28年10月18日(火)、13:00~16:15

<弘前会場>平成28年10月20日(木)、13:00~16:15

会場 <八戸会場>八戸工業大学(27名参加)

<弘前会場>県立弘前高等技術専門校(67名参加)

講師 <2会場共通>宮城県産業技術総合センター 自動車産業振興コーディネーター 萱場 文彦 氏  
(元トヨタ自動車(株)、エンジンの開発、設計、車両企画等を担当)

- 内容
- ・燃料電池自動車の構造等に係る講義
  - ・車両(燃料電池自動車)を見学しながらの解説
  - ・ハイブリッド車の機能部品等の解説
  - ・自由見学、質疑応答、個別アドバイスほか



## とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会(とうほく自動車産業集積連携会議による連携事業)

### ○ とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会

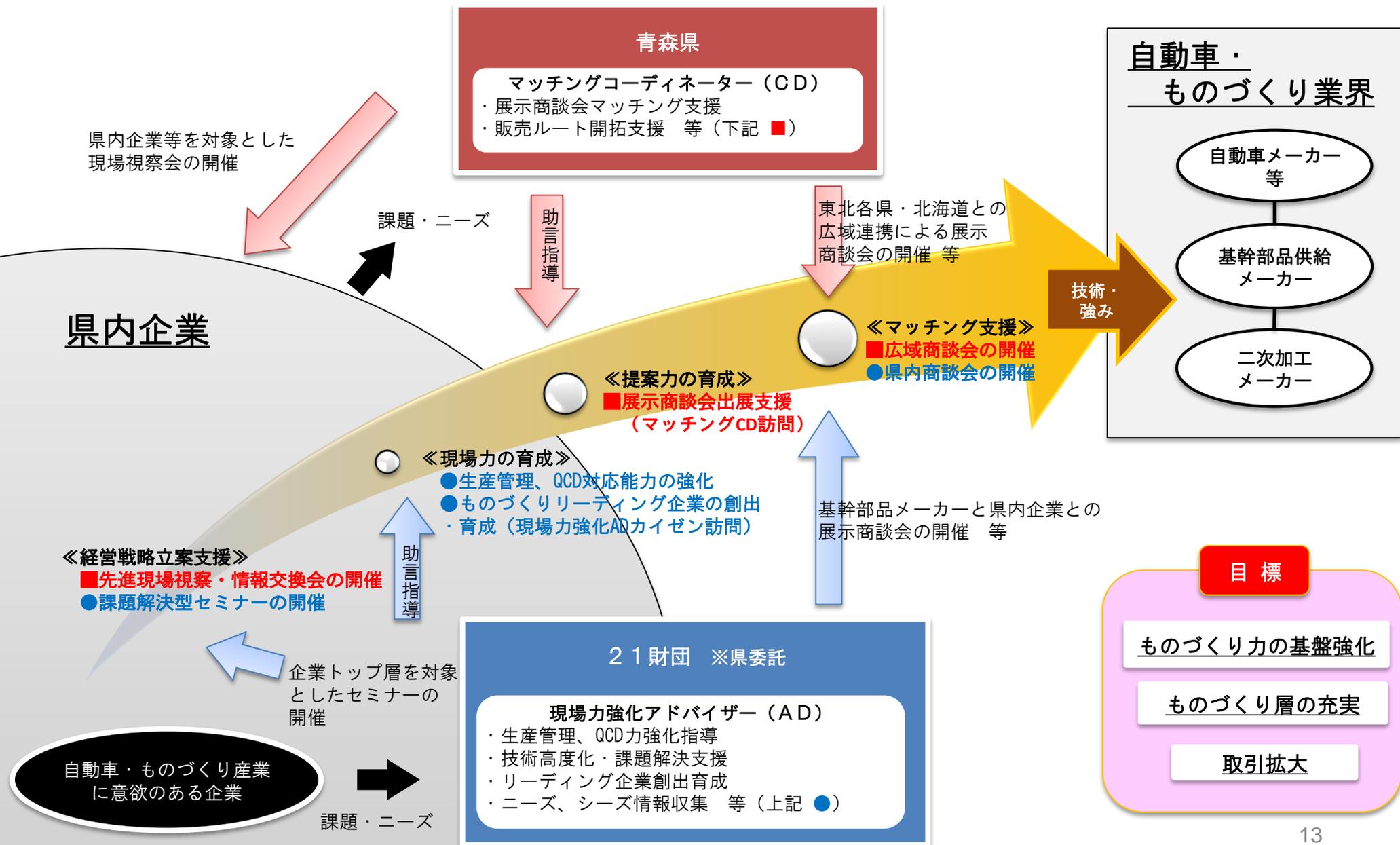
東海地区の自動車関連メーカー等を対象に、取引促進や協力関係の構築を図るため、東北7県の各協議会により構成される「とうほく自動車産業集積連携会議」および北海道自動車産業集積促進協議会が主催し、企業の「新技術・新工法」等の提案・アピールを行う展示商談会を開催してきています。

- ・日時 平成29年2月2日(木)～3日(金)
- ・場所 刈谷市産業振興センター「あいおいホール」(愛知県刈谷市)
- ・内容 「樹脂成形」「鋳造・鍛造」「プレス」「表面処理」などの新技術・新工法の提案
- ・本県参加企業 6社(東北7県・北海道で82社)



### 【参考】とうほく7県および北海道 自動車関連技術展示商談会の本県企業出展状況

年度	開催年月日	開催名称	開催場所	県参加企業数(全体)	県参加企業名
19	平成19年9月3日～4日	とうほく自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	4(99)	高周波鋳造(株)、エプソンアトミックス(株)、(株)ワーロック、(株)青森テクニ
20	平成20年11月17日～18日	とうほく自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	7(89)	エプソンアトミックス(株)、(株)ワーロック、(株)青森テクニ、(株)青森フジクラ金矢、アンデス電気(株)、マルイ鍍金工業(株)東北工場
21	平成21年10月27日～28日	とうほく6県新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	3(38)	エプソンアトミックス(株)、(株)青森フジクラ金矢、(株)遠山工業黒石工場
22	平成22年10月27日～28日	とうほく6県自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	2(58)	(株)青森テクニ、(株)遠山工業黒石工場
23	平成24年1月19日～20日	とうほく6県新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	2(43)	エプソンアトミックス(株)、(株)遠山工業黒石工場
24	平成25年1月24日～25日	とうほく6県自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	3(70)	(株)遠山工業黒石工場、(株)コアライン、多摩川精機(株)八戸事業所
25	平成26年1月30日～31日	とうほく6県新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	5(40)	(株)アドバネクス弘前工場、(株)ソルテック、竜飛精工(有)、(株)テクニカル、(株)ブルーマウステクノロジー
26	平成27年2月5日～6日	とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	6(80)	(株)アドバネクス弘前工場、(有)外ウ電子、(株)遠山工業黒石工場、(株)エム(株)、北日本鍍金(株)、(有)forte
27	平成28年2月4日～5日	とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会	トヨタ自動車本社(豊田市)	8(102)	(株)アドバネクス青森工場、(有)外ウ電子、(株)青森テクニ、(株)ソルテック、日本ハルスモーター(株)岩木工場、テストデータシステム(株)、(株)フォルテ、(株)抗菌研究所
28	平成29年2月2日～3日	とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会	刈谷市産業振興センター	6(82)	(株)アドバネクス青森工場、(有)外ウ電子、(株)ソルテック、日本ハルスモーター(株)岩木工場、(株)フォルテ、アイカーボン(株)



## <創業支援グループ>

- 創業・起業支援の推進(これまでの取組、H29年度取組)
- 円滑な事業承継の推進(H29年度取組)
- クラウドファンディングの普及推進(H29年度取組)

## 1 創業支援拠点の整備

### (1) 県の主体的な取組

- ・平成18年度 弘前市に創業支援拠点「夢クリエイト工房」を設置
- ・平成19年度 青森市に創業支援拠点「創業チャレンジクラブ」を設置
- ・平成20年度 八戸市に創業支援拠点「アントレプレナー情報ステーション」を八戸市と共同設置
- ・平成27年度 五所川原市、三沢市及びむつ市に創業支援拠点「創業相談ルーム」を各市と共同設置
- ・平成28年度 黒石市及び十和田市に創業支援拠点「創業相談ルーム」を各市と共同設置

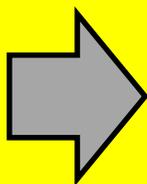


### (2) 地域の主体的な取組を支援

- ・平成22～23年度 「アントレプレナー情報ステーション」の八戸市単独設置に向けた運営費補助
- ・平成24～25年度 夢クリエイト工房の代替機能を受継ぐ、弘前市の創業支援拠点「ひろさきビジネス支援センター」等への運営費補助
- ・平成24年度 青森市単独の創業支援拠点「起業・創業等相談ルーム」のスタッフ人材育成



成果



設置数 8市10ヶ所  
(青森市3、弘前市1、八戸市1、黒石市1、五所川原市1、三沢市1、むつ市1、十和田市1)  
(H29.3月末現在)

新規利用者数 1,901名  
(H18～H29.3末)

## 2 創業支援の風土づくり

### (1) 創業・起業支援制度説明会・創業ワンポイントセミナーの開催

- ・ 創業希望者の掘り起こし等のため、関係機関と連携し、県内各所で創業支援制度の説明会と創業の基本的知識の習得を目指したワンポイントセミナーの開催。



### (2) 創業・起業実践セミナー、UIJターン創業セミナー・相談会の実施

- ・ 業態・分野別テーマでの創業セミナーの開催。また首都圏等で経験を積んだ方を対象にUIJターン創業セミナー・相談会を開催。



### (3) 未来の起業家(高校生・大学生)の育成

- ・ 長期的視点で創業意識を醸成するため、また中・高・大学生を対象とした起業家による講演会を開催。



成果



説明・相談会参加者数  
1,317名 (H21~H28)

セミナー等参加者数  
106名 (H28)

起業家講演会参加者数  
21校3,694名 (H28)

## 3 支援の人財の育成強化

### (1) インキュベーション・マネジャー(IM)育成支援

- ・ 商工関係機関の職員も対象としたIM養成研修の実施や首都圏での研修受講を支援。



### (2) IMの連携促進に向けた協議会の設置

- ・ 県内の創業支援活動の連携促進、スキルアップのための団体、青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会の設置(H24)。



### (3) IMのスキルアップに向けた研修会の開催

- ・ 県内の関係機関に所属しているIM等を対象に、県内外のIMや専門家を講師に迎え、創業に関する地域習得と情報を共有するための研修会を実施。

成果



県内IMの人数  
46名(H28)

青森県インキュベーション・マネジャー  
ネットワーク協議会設立(H24.7)

スキルアップ研修参加者数  
119名(H28)

## 4 あおもり起業家養成研修事業

### (1) あおもり起業家養成研修

創業・起業意識の醸成やビジネスプラン作成のノウハウ習得のため、創業支援の専門家(インキュベーション・マネジャー)によるビジネスプラン作成講座を実施。

- ①研修開催場所 【26年度】八戸市、青森市 【27年度】青森市、八戸市、弘前市  
【28年度】青森市、八戸市、弘前市、三沢市
- ②研修参加者 【26年度】41名(両会場) 【27年度】58名(全会場)  
【28年度】59名(全会場)



## 5 起業後のフォローアップ

### (1) 創業・起業地域交流会

起業家(経営者)と起業希望者が交流し、情報共有や新しいネットワークづくりを行うことで、起業家同士の仲間づくりや販路開拓に繋げていくことを目的とした地域交流会の実施。

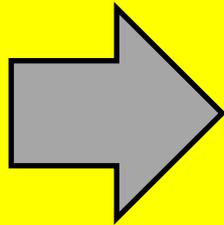
- ①開催場所 【28年度】青森市、八戸市、弘前市
- ②参加者 【28年度】110名(全会場)

### (2) 起業家フォローアップ

平成18年度から平成27年度までの間において、県内創業支援拠点等を利用した創業者238名を対象に現在の状況や起業後の課題等を把握するためのアンケート調査を実施。

## 6 取組の成果

これまで県の創業支援拠点や事業を活用して創業に至った人数



**348名 (H18～H29.3末)**



### 創業者事例

#### SMILE & SPOON



地元の食材を使った安全・安心な食事の提供、食生活改善のための料理教室の開催及び菓子等の販売

#### さくらアカデミー



理想の学習環境をコンセプトとした、成績向上と夢実現を追求する学習塾の経営

#### (株)ミライフ



家庭の風呂に入るのが困難な方のために、介護保険制度を利用した訪問入浴介護サービスの提供

#### たこまさ



高校生や近隣職域の中食需要に対応した路面店での店頭販売によるたこ焼き店の経営

# 《 創業・起業支援の推進 》

平成29年度の取組

## 創業・起業支援強化推進事業費

予算額 28,344千円

【事業概要】 本県経済の活性化と新たな雇用の創出に向けて、市町村及び関係団体等との連携のもと、県内全域での創業・起業の支援体制づくりと創業・起業の一層の増加を図る。

### 【現状・課題】

- 県内3市に加え、27年度に五所川原市、三沢市及びむつ市、28年度に十和田市及び黒石市に創業支援拠点を新設
- 商工団体等のIMが増加
- 創業支援拠点を利用した創業者数が増加(H18~27で238名/H24~27で191名)
- 国による創業・起業の取組強化



- 潜在的な創業希望者を掘り起こし、創業支援拠点の利用やIMによる伴走型支援への連携の更なる強化が必要
- IMの更なるスキルアップと交流が必要
- 若者・女性・シニア等ターゲット別の支援に加え、資格・地域資源・IT活用等の業態別の支援も必要
- 県内各地域での創業支援体制づくりの促進と関係団体等も含めた連携強化による県全体での支援体制の構築が必要

### 【事業内容】

#### 【概要】

創業・起業に係る意識醸成、創業・起業希望者の発掘・養成、インキュベーション・マネジャー(IM)による伴走型支援の強化、創業支援拠点の機能強化等の各種取組を強力に展開する。

#### 【取組1】 起業マインド醸成事業 (8,702千円)

- (1) 創業・起業実践セミナーの開催
- (2) 創業・起業支援制度説明会の開催
- (3) UIJターン創業セミナー、相談会の開催
- (4) 東北6県合同Uターン創業フェアの開催
- (5) 未来の起業家育成講演会の開催

#### 【取組2】 創業・起業伴走型支援事業 (19,075千円)

- (1) IMスキルアップ研修会の開催
- (2) 創業・起業地域交流会の開催
- (3) IMによる伴走型支援の実施

#### 【取組3】 プレインキュベーション推進事業 (567千円)

各地域での創業・起業支援の核となる相談ルームの設置・運営



並行実施によるシナジー効果

#### 【一般政策経費事業】

- 起業家養成研修事業費 (1,782千円)

### 【事業効果】

○県内全域での『創業・起業支援体制の構築』

○創業・起業の増加

\*「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」重要業績評価指標(KPI):  
県内創業支援拠点利用の創業者数  
5年間で250名



地域経済の活性化  
新たな雇用の創出  
移住・定住の促進



# ◀ 円滑な事業承継の推進 ▶

平成29年度の取組

事業承継円滑化支援事業費 予算額: 5,553千円

担当課: 地域産業課  
創業支援G(内線3661)

【H29戦略プロジェクト】  
人口減少克服プロジェクト

商工団体等との連携のもと、後継者不在の企業を受け手(役員・従業員、起業家、M&A活用により第三者等)に円滑に事業承継し、事業所の減少に歯止めをかけることで、県内の雇用や地域経済の維持・振興を図る。

## 【現状・課題】

### ① 県内事業所数の減少

- ・事業所数: ①67,082 所→②60,866所
- ・従業員数: ①544,757人→②542,495人
- ・人口: ①1,423千人→②1,321千人

出典: 総務省「事業所・企業統計調査①②」  
「経済センサス①②」「人口推計①②」

### ② 代表者が高齢の企業でも後継者不在

代表者世代別では、80歳代で約3割、70歳代で約4割、60歳代で約5割が後継者不在。

(出典: TDB: 青森県内企業の後継者問題に関する実態調査2014)

③ 国の取組を受けて、本県も事業承継に係る意識啓発及び青森県事業引継ぎ支援センターの認知度向上が必要

県内の雇用や地域経済を維持するためには、事業承継を円滑に行い、後継者不在が理由の廃業者数を減らすことが急務

## 【事業内容】

### 【取組1】後継者不在企業の把握・フォローアップ

(2,349千円)

- (1) 後継者不在企業の調査(800千円)  
後継者不在企業のヒアリング調査、事業承継準備状況の段階に応じた情報提供等の支援の実施。(調査対象: 590件)
- (2) フォローアップセミナー・相談会の開催(1,549千円)  
調査で明らかになった事業承継を希望する企業を対象に、専門家によるセミナー及び個別相談会を開催。(10地区×1回)

### 【取組2】「受け皿」の醸成(1,760千円)

- (1) 後継者・受け手企業育成セミナーの開催(1,760千円)  
若手経営者や商工会・商工会議所青年部、起業希望者等を対象に事業承継による経営拡大・異業種参入・起業の事例紹介等に係るセミナーを開催。(6地区×1回)

### 【取組3】支援体制の強化(1,444千円)

- (1) 支援機関情報交換会の開催(670千円)  
各機関の取組や県内外支援事例の情報共有等を実施(6地区×1回)
- (2) 支援機関担当者等専門研修の開催(774千円)  
経営指導員、税理士、金融機関窓口担当者等を対象に、県外講師による事業承継の知識やノウハウ習得に係る講演等を実施(6地区×1回)

## 【事業効果】

### 【効果①】

青森県事業引継ぎ支援センターの事業引継ぎ支援データベース登録件数(後継者不在企業+受け手)の増加による円滑な事業承継

### 【効果②】

関係機関の連携による事業承継支援体制の強化

・県内事業所数の減少に歯止め

・雇用及び地域経済の維持・振興

# 《 クラウドファンディングの普及推進 》

平成29年度の取組

あおもりクラウドファンディング推進事業費

(6,201千円)

## 【事業概要】

購入型のクラウドファンディングを運営する民間事業者と連携し、起業者、中小企業者による地域活性化に資する魅力的なプロジェクトについて、県内外の応援者から資金調達を行う事例を創出し、クラウドファンディングの普及を推進する。

## 【現状・課題】

起業者、中小企業者による新規性のある魅力的な事業に対する資金調達の手段が限られている。

- ・金融機関等は事業者の財務状況や担保、これまでの実績を重視
- ・株式市場等からの直接金融による資金調達も困難

新たな資金調達の手法として、インターネットで不特定多数から資金を集める「クラウドファンディング」が注目されている。

## 【事業内容】

### ○クラウドファンディングの活用によるプロジェクト支援

#### ①実施方法

クラウドファンディング事業者に対する委託事業として実施する。

#### ②業務内容

- ・クラウドファンディングの周知  
県内中小企業者等に対し、クラウドファンディングを周知するセミナー等を実施
- ・プロジェクトの募集・選定  
県内中小企業者等から地域活性化に資する魅力的なプロジェクトを募集、選定
- ・支援金の募集・提供  
選定されたプロジェクトについて購入型のクラウドファンディングにより支援金を募集し、目標額を達成した場合にプロジェクト実施者に提供
- ・プロジェクトのフォローアップ  
プロジェクトのフォローアップ支援を継続的に実施

## 【事業効果】

財務状況や担保の有無、実績等に関わらずプロジェクトの内容次第で資金調達が可能に



新たなチャレンジがしやすい環境が整備



**起業など働き方の多様化  
人口減少の克服**

さらに、

プロジェクトの支援を通じた青森ファンの獲得

## <地域資源活用推進グループ>

- 農商工連携による産業振興
- 中小企業の販路拡大の支援
- 伝統工芸産業の振興
- 中小企業地域資源活用プログラムによる支援

# 《農商工連携による産業振興》

## あおもり農工ベストミックス新産業創出構想（平成18年3月策定）

### 基本理念

ローカルテクノロジーを活用した農工の連携・融合等による新産業の創出・育成を通じ、本県の産業の活性化、県土の均衡ある発展を図ります。

### 基本方針

#### 《産業クラスター的手法による地域産業の振興》

- 地域の企業等が、大学、研究機関、支援機関等の関係機関と連携
- 農作物の生産管理技術、グリーンエネルギーやバイオマス資源、機能性を追求した加工・製造等のシーズなどを活用
- 新事業を創出・育成し、これらをクラスターとして形成

### 戦略プロジェクト

#### ① 新生産システム・グリーンエネルギー活用型生産プロジェクト

農産物生育管理、新エネルギー、バイオマス資源の多角的利用技術の開発・導入等による新たな生産システムの確立を目指す

#### ② グリーンフード&テクノロジープロジェクト

県産農林水産資源が有する生理機能を研究し、機能性食品の商品化や省力・操作性に優れた農業機器等の研究開発・企業化の取組の強化

#### ③ 戦略的流通・販売システム活用プロジェクト

食産業や流通産業と連携した新事業の展開やweb市場等を活用した販路開拓を促進



## 1 農商工連携ビジネスセミナー

回次	時期・場所	参加者数	内 容
第1回	平成28年9月27日 (八戸商工会議所) 	約30名	<p>□説明:新事業創出支援事業について 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 連携推進課</p> <p>■講演:高品質で飲みごたえのある本格派の発泡性日本酒『純米大吟醸活性うすにごり』の開発と販路開拓 講師:合資会社 大和川酒造店</p> <p>■講演:農商工連携を成功に導くキーワード～「事業リーダー」と「連携度合い」～ 講師:中小企業診断士 村上 一幸 氏</p>
第2回	平成28年10月19日 (ヒロロ) 	約30名	<p>□説明:新事業創出支援事業について 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 連携推進課</p> <p>■講演:「安全で高品質な善兵衛栗(西明寺栗)を使用した高価値な栗菓子の開発・製造・販売」について 講師:株式会社ゆう幸 代表取締役社長 佐々木 幸生 氏</p> <p>■講演:「6次産業化・農商工連携・食料産業クラスターの系譜と事例分析」 講師:農都共生総合研究所 代表取締役 川辺 亮 氏</p>
第3回	平成28年11月17日 (青森県水産ビル) 	約50名	<p>□説明:新事業創出支援事業について 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 連携推進課</p> <p>■講演:食と農のブランド化と目からウロコの6次産業化! ～TPPも怖くない戦略とは～ 講師:有限会社草場企画 代表取締役 草場 佳朗氏</p> <p>■講演:新油糧米「金のいぶき」を原料にしたプレミアム米油及び関連商品の開発と販売 講師:三和油脂株式会社 代表取締役 山口 與左衛門氏</p>

## 2 農商工連携交流会

名称	時期・場所 参加者数	内 容
<p>あおもり食産業推進フェア (新商品お披露目会&amp;知財実践セミナー)</p> <p>※あおもり食品産業振興チームと共催</p>	<p>平成29年2月9日 ホテル青森</p> <p>約200名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知財実践セミナー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>講演: ブランド化のためのネーミング開発</li> <li>講師: 三浦特許商標事務所 弁理士 三浦 誠一 氏</li> <li>プレゼン発表: 津軽海峡メバルの地域団体商標登録に向けて</li> <li>発表団体: 中泊町水産加工課水産係 係長 鈴木 統生 氏</li> </ul> </li> <li>■ 加工技術セミナー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>講演: 糖の上手な使い方</li> <li>講師: (株)林原 糖質事業本部 L'プラザ 岡山ラボ 課長 池上 庄治 氏</li> </ul> </li> <li>■ 新商品お披露目会・商品づくり相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、関係機関等が今年度支援して商品化・最終試作品まで至った新商品の展示</li> <li>○ 商品開発、加工技術、支援制度、6次産業化等に関する商品づくり相談対応</li> </ul> </li> </ul> 
<p>農商工連携推進交流会</p>	<p>平成29年3月8日 ラ・プラス青い森</p> <p>約50名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 講演1: 知名度ゼロからの挑戦 フルーツほおずきのブランド化 10年の歩み</li> <li>講師: (有)早野商店(岩手県岩泉町) 取締役 早野 崇 氏</li> <li>■ 講演2: 必然から生まれた農商工連携 ~道の駅 枇杷倶楽部がめざしたもの~</li> <li>講師: (株)ちば南房総(千葉県南房総市) 代表取締役副社長 加藤 文男 氏</li> </ul>  

## 3 あおもり農商工連携助成事業(平成21～31年度)

総額28億円のあおもり農商工連携ファンドを造成し、農林漁業者と中小企業者との連携による新商品開発等に対して助成。

■管理運営:(地独)青森県産業技術センター(本部企画経営室)

※支援機関=経営革新支援機関助成事業の略

事業区分	事業名	事業者種別	助成事業者名	所在地
H28 上期	経営革新 助成事業	ブラックベリー類の冷凍方法の確立と販路開拓	中小企業者 株式会社天の川 農林漁業者 有限会社松竹梅造園	青森市 青森市
		青森県産りんごを使用したこだわりゼリーの開発	中小企業者 株式会社ホクユーフーズ	青森市
			農林漁業者 タムラファーム株式会社	弘前市
		県産ニンニクを活用した「アホエンオイル(仮称)」の製造販売事業	中小企業者 有限会社虹の川	八戸市
			農林漁業者 ながうし農産加工企業組合	八戸市
支援事業	青い森の機能性食材普及促進事業	支援機関 株式会社ワイエスフードエッセンス	弘前市	
H28 下期	経営革新 助成事業	摘果果を活用したテキカカビジネス総合ブランド構築事業	中小企業者 もりやま園株式会社	弘前市
			農林漁業者 有限会社アトリエタアクー級建築士事務所	弘前市
		県ニンニク熟成システムの確立及び商品開発	中小企業者 東弘電機株式会社	弘前市
			農林漁業者 後藤昭一	黒石市
		野菜だしの新たな食提案による青森県田子産にんにくの価値創造事業	中小企業者 有限会社静岡屋	八戸市
			農林漁業者 種子にんにく農園	田子町
		果樹剪定枝を活用した地域特産品の開発と販路拡大	中小企業者 合同会社南部どき	南部町
			農林漁業者 達者村農業観光振興会	南部町
		県産りんごを使用して、「丸ごとりんご」をキーワードに新商品開発及び販路開拓	中小企業者 お菓子の工藤	つがる市
			農林漁業者 宮西農園	つがる市
岩木山麓・嶽のきみを使用した新鮮冷凍パックの開発と販路開拓	中小企業者 株式会社N・S・マネージメント	弘前市		
	農林漁業者 合同会社秀興	弘前市		
支援事業	稲作地帯の地域資源を活用した資源循環型産業推進支援事業	支援機関 国立大学法人弘前大学農学生命科学部	弘前市	

### <H21-H28の支援例>



KimoriCIDRE  
(キモリシードル)



おやさい  
クレヨン  
Vegetabo  
~Season3



プロテオグリカンの  
むヨーグルト

## 4 バイオマス高付加価値化の促進

●県内のバイオマスを効率的に安定して調達できる体制を整え、バイオマスを高付加価値製品に利活用する取組を促進するため、バイオマスの収集運搬・原料調達体制モデルを構築実証。

●委託先（青森バイオ技研株式会社） 1件

## 5 植物工場の経営安定化

●県内植物工場の早期の経営の安定化を図るため、省エネ対策、労務改善、品目の選定、販売方法など、経営安定化に必要な事項を調査し、本県に合った植物工場経営安定化モデルを実証。

●委託先（NPO法人植物工場研究会） 1件

## 6 研究会の開催

研究会名称	日 程	参加者数	内 容
バイオマスビジネス研究会	平成28年8月26日（青森市）	35名	①「バイオマス産業都市構想の実現による地域の活性化について」 農林水産省 東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課課長 ②「ユーズ(株)と三浦バイオマスセンター事業(施設)の紹介」 三浦地域資源ユーズ株式会社 吉田 茂 氏
	平成28年11月10日～11日（県外）	20名	県外視察会（宮城県） ①エネ・カフェ メタン ②大崎森林組合 鳴子工場 ③有限会社千田清掃 ④アマタ株式会社 南三陸BIO
	平成29年1月24日（青森市）	40名	①「セルロースナノファイバーの特徴とその用途について」 （地独）京都市産業技術研究所 北川 和男 氏 ②「紫波町における木質バイオマス地域熱供給の取組について」 紫波グリーンエネルギー(株) 中尾 敏夫 氏
植物工場研究会	平成28年10月26日～27日（県外）	10名	県外視察会（宮城県、山形県、福島県） ①(株)イグナルファーム ②仙台市農業園芸センター ③(株)阿蘇ファームランド ④(有)安全野菜工場
	平成28年12月16日（青森市）	20名	①「植物工場の経営実態と将来動向」 株式会社三菱総合研究所 水野 友美 氏 ②「人工光植物工場事業の現状と今後の展望」 (株)木田屋商店 木田 久喜 氏
	平成29年2月10日（青森市）	35名	①「大規模施設園芸における労務管理について」 全国農業協同組合連合会 吉田 征司 氏 ②「ものづくりの力を吹き込んだ会津若松Akisaiやさい工場」 富士通ホーム&オフィスサービス(株) 野牧 宏治 氏

## 1 あおもり農商工連携助成事業(平成21～31年度)

### あおもり農商工連携支援基金(農商工連携ファンド)の概要

#### 【目的】

中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携し、互いの有するノウハウ・技術等を活用することで、両者の有する強みを発揮した新商品の開発等に要する経費等に対して助成し、「青森の特性を踏まえた地域産業の形成・活性化」や「農商工連携による食品産業の強化」を図り、「生活創造社会」の実現を目指す。

中小企業  
基盤整備機構  
20億円

無利子貸付  
10年間

青森県  
5億円

無利子貸付  
10年間

無利子貸付  
10年間

青森銀行  
1.5億円  
みちのく銀行  
1.5億円

あおもり農商工  
連携支援基金  
28億円

- 運用期間：10年
- 想定運用率(国債等購入)：1.30%
- 運用益：3,640万円/年
- 管理運営者：(地独)青森県産業技術センター(H21.4設立)

運用益  
で助成

#### 【支援重点分野】

- ①「食」産業、②農工ベストミックス型産業

#### 【助成事業】

##### ①経営革新助成事業

- 【対象者】 中小企業者等と農林漁業者との連携体  
 【対象事業】 調査、新商品・新技術・新役務の開発、販路開拓  
 【助成限度額】 500万円以内(助成期間：2カ年以内)  
 【助成率】 ・特定売上目標設定事業、農商工連携推進プラン関連事業 4/5以内  
 ・支援重点分野または雇用創出 2/3以内  
 ・その他 1/2以内

##### ②経営革新支援機関助成事業

- 【対象者】 中小企業者と農林漁業者との連携体を支援する機関  
 【対象事業】 指導助言、販路開拓支援  
 【助成限度額】 100万円以内(助成期間：1カ年以内)  
 【助成率】 10/10以内

#### 助成対象事業の選定

##### 【対象事業の選定過程】

- ①公募
- ②事前実地調査
- ③審査委員会による選定(産学官金の有識者で構成)

##### 【対象事業の採択基準】

- ①事業実施の確実性
- ②事業化の熟度
- ③事業目標の達成見込み
- ④産業振興と雇用創出への効果

#### 【資金助成によらない支援】

- ①産業技術センターによる支援
- ②産業技術センターが中心となり、青森県、各地域金融機関、各地域力連携拠点、各農林水産関係団体のほか、各商工会議所・商工会、各大学、各市町村等の連携による総合的な支援

## 2 あおもり農商工連携プラン関連事業

H29当初 9,082千円

### 【現状と課題】

県では、平成18年に策定した「農工ベストミックス構想」に基づき、農工連携による新産業の創出・育成に向けて取り組んできたところ。

これらを踏まえ、平成29年2月に「あおもり農商工連携推進プラン」(事業期間平成29年度～平成33年度)を策定し、引き続き農商工連携による産業振興を一層推進していくこととしている。

#### <重点分野(方向性・課題)>

- ① バイオマス(発電等の取組拡大、高付加価値化)
- ② 植物工場(経営安定化・高収益化)
- ③ 農業機器等(省力化・高効率化機械等)の開発推進
- ④ 農商工連携による商品・サービス(本県ならではの資源を活用した商品開発等の一層の推進)

### 【事業内容】

#### 1 農工連携産業競争力強化事業

(3,636千円)

##### 【取組1】

バイオマスの高付加価値化に係る原料調達等の実証委託

##### 【取組2】

バイオマス及び植物工場に関する研究会の開催

#### 2 農商工連携成長産業化支援事業

(5,446千円)

##### 【取組1】

農商工連携に係る普及啓発等のためのセミナー・相談会等の開催

##### 【取組2】

専門家派遣事業

##### 【取組3】

農業機器等に関する研究会の開催、展示会への出展支援

### 【事業効果】

#### ① バイオマス

⇒高付加価値化等による本県農林水産業・商工業の活性化

#### ②植物工場

⇒生産性向上等による雇用の確保・増加や農業の産業化

#### ③農業機器等

⇒本県農林水産業の振興、製造業の経営基盤強化

#### ④農商工連携による商品・サービス

⇒農林漁業者の所得向上、地域の企業等の売上向上



- 雇用の創出
- 地域経済の活性化

## 1 販路開拓支援セミナー

県内中小企業者及び産業支援機関職員等を対象に、販売チャネルに応じた商品戦略や県等の販路開拓支援施策の紹介により、販路拡大を目指す県内中小企業を支援するため、3地区で販路開拓支援セミナーを開催しました。(延べ参加者数 95名)

### 【内容】

- (1) 講演 テーマ:商談成約に向けたバイヤーへの効果的なアピールについて  
 講師:新日本スーパーマーケット協会 プランニングマネージャー  
 中小企業基盤整備機構 本部 プロジェクトマネージャー  
 粕山 朋輝 氏
- (2) 県等の販路開拓支援施策の紹介
- ① 「スーパーマーケット・トレードショー2017」への青森県ブース出展企業募集
  - ② 青森県総合流通プラットフォーム「A!Premium」輸送サービス
  - ③ ビジネスサポートステーション事業



## 2 商談力・発信力アップ講習会の開催

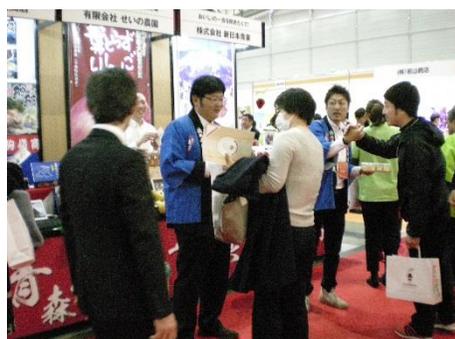
展示商談会での販路開拓に必要なノウハウを取得するため、展示会出展のポイントや出展後のフォローなどについての講習会を開催しました。(延べ参加者数 221名)

	日 程	参加者数	内 容
スーパーマーケット・トレードショー 青森県ブース出展者事前セミナー	平成28年10月24日(青森市)	60名	スーパーマーケット・トレードショー2017 ～展示商談会の目的と活用の仕方について～
展示会出展のための事前研修会 (個別研修)	平成28年11月15日(青森市) 平成28年11月14日(弘前市) 平成28年11月16日(八戸市)	25名	展示の仕方、商談のための資料づくり
出展後のフォローアップセミナー (個別研修)	平成29年3月23日(青森市) 平成29年3月22日(弘前市) 平成29年3月24日(八戸市)	63名	展示後のフォローアップ ※取得名刺の分析、今後の商談の進め方

## 3 大規模商談展示会への出展支援

国内最大級の食品商談展示会「スーパーマーケット・トレードショー 2017」（主催：（一社）新日本スーパーマーケット協会、会期：平成29年2月15日（水）～2月17日（金）、会場：東京ビックサイト）へ青森県ブースを設置し、本県の食品関係事業者の大規模商談展示会への出展を支援しました。

- ・青森県ブースへの出展者数 31社  
（No.28～No.31はA!Premium出展企業）
- ・来場者 計86,768名



	出展者		出展者
1	(株)新日本青果	17	(有)天間林流通加工
2	(有)せいの農園	18	(株)ヤマダイ
3	(株)駒嶺商店	19	(株)はとや製菓
4	(株)あおもり北彩館	20	桃川(株)
5	(有)アラコウ水産	21	美保野グリーン牧場(株)
6	(株)三福製麺	22	河野商店
7	ヤマモト食品(株)	23	合同会社ナチュラル青森
8	しみず食品(株)	24	千畳敷センター
9	(株)アグリーデザイン	25	(有)白神山美水館
10	(株)木村食品工業	26	PaSaPa青森・地域社会づくり研究会
11	(有)松栄堂	27	武輪水産(株)
12	(株)エイ・ワンド	28	三沢市漁業協同組合
13	(有)しんぼり	29	(株)岡崎屋
14	(株)つがる	30	(株)弘前丸魚
15	(株)館山	31	(有)ヤマトミ食品
16	(株)木戸食品		

### 目的

県内中小企業(食品製造業等)等を対象に、首都圏での大規模展示・商談会への出展を契機とした戦略的・計画的な商品の売り込みを支援し中小企業等の販売力の向上と競争力の強化による販路拡大と外貨獲得を推進します。

### 事業概要

#### 【現状・課題】

##### 【現状】

- 売り上手あおもり推進事業(24~25年度)
  - ・内容 商談対応力・広報力向上研修等
  - ・成果 商談対応力等の必要性に関する理解の向上
- あおもり元気企業販路拡大支援事業(26~27年度)
  - ・内容 セミナー開催、展示会出展支援等
  - ・成果 商談実現等の効果は出てきているが、セミナーに参加しても資金不足で出展を見送る企業や出展してもうまく商談できない企業が存在



##### 【課題】

- 自社商品(地域資源等を活用した地域産品)の積極的な情報発信力の強化が必要
- 資金に余裕がない事業者への県外大規模展示・商談会への出展機会の提供が必要
- 展示・商談会での効果的な商品の売り込み(特に出展後の契約取引実現)等に関するノウハウが必要

#### 【事業内容】

##### 【概要】

県内中小企業等を対象に、展示・商談会への出展支援、出展ノウハウや出展後のフォローアップ等に係る個別指導等を行い、販路開拓に係る意識醸成とスキルアップを図る。

##### ◆「売り上手あおもり」推進事業(部局政策経費 2,425千円)

###### 取組1 商談力・発信力強化セミナーの開催(2,425千円)

販路開拓を目指す県内中小企業等を対象に、販路開拓の手法及び各種媒体の効果的な活用方法等、商談力・発信力強化のためのセミナーを開催

##### ◆あおもり元気企業販売力パワーアップ事業(重点 9,620千円)

###### 取組2 展示・商談会出展支援(8,755千円)

首都圏の大規模展示・商談会に「青森県ブース」を設置し、専門家のサポートにより、県内中小企業等の出展・商談を支援

- ・2月 スーパーマーケット・トレードショー(国内最大級)
- ・3月 FOOD EX JAPAN(アジア最大級)

※「A!Premium」輸送サービス活用事業との連携(港湾空港課)

###### 取組3 出展者フォローアップ(865千円)

展示・商談会後の契約取引実現のための商談の進め方等について、出展企業ごとに専門家のアドバイス(取得名刺の分析・活用、見込み客への対応等)を実施

#### 【事業効果】

##### 販路拡大

- 自ら展示・商談会へ出展するスキルの取得
- 販路開拓による売上げ増加
- 地域産品の情報発信力の向上
- 市場調査・トレンド把握による新商品開発



##### 外貨獲得

地域ブランドの確立

地域経済の好循環



# 《伝統工芸産業の振興》

## 伝統的工芸品振興事業

### 伝統工芸品の指定及び伝統工芸士の認定

#### ①伝統工芸品の指定

##### 【目的】

青森県の歴史と風土に培われ、県民の生活の中で育み受け継がれてきた工芸品を、青森県伝統工芸品として指定することにより、その声価を高め、工芸品の製造に携わる事業者等の製造意欲の高揚及び工芸品産業の育成・振興を図る。

##### 【指定要件】

1. 主として、日常生活の用に供される工芸品であること。
2. その製造工程の主要部分が手工業的であること。
3. 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
4. 原材料が伝統的に使用されてきたものであること。
5. 当該工芸品が、概ね50年以上の歴史を有するものであること。

##### 【指定件数】

31工芸品68製造者(平成28年12月現在)

▼平成28年度新規工芸品指定・工芸士認定  
下川原焼土人形 阿保正志氏の製品



#### ②伝統工芸士の認定

##### 【目的】

県指定伝統工芸品の製造に従事している技術者のうち、高度の技術・技法を保持する者を県伝統工芸士と認定することにより、社会的な評価を高めるとともに、従事意欲と技術の向上を図り、伝統的技術又は技法の指導者として、工芸品の振興、後継者の育成と伝統工芸品の次世代への継承に寄与する。

##### 【認定要件】

1. 青森県内に居住していること。
2. 伝統工芸品の製造の実務経験が12年以上あり、かつ現在もその製造に従事していること。
3. 伝統工芸品の製造に関する高度の技術又は技法及び必要な知識を有し、その維持又は発展に努めていること。
4. 後継者育成に熱意のある人。
5. 青森県伝統工芸士にふさわしい高潔な人格を有すること。
6. 経済産業大臣認定の伝統工芸士でない人。

##### 【認定件数】

58名(平成28年12月現在)

▼平成28年度新規工芸士認定  
きみがらスリッパ 古館よしえ氏の製品



# 《伝統工芸産業の振興》

## 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業（平成28年度の実績）

### （１）事業説明会の開催

本県工芸品製造者等を対象に、事業概要を説明するとともに、消費者に愛される商品づくりと販路開拓をテーマにしたセミナーを併催し、事業参加者を広く募集した。

#### ①八戸会場

開催日 平成28年5月25日（水）

講師 メイト・イン・ジャパン・プロジェクト(株)

統括マネージャー 松坂 香里 氏

参加者 16名

#### ②弘前会場

開催日 平成28年6月8日（水）

講師 メイト・イン・ジャパン・プロジェクト(株)

代表取締役 赤瀬 造成 氏

参加者 21名

#### ③青森会場

開催日 平成28年6月9日（木）

講師 メイト・イン・ジャパン・プロジェクト(株)

代表取締役 赤瀬 造成 氏

参加者 14名



### （２）販路開拓等に向けた研究会

事業参加者を対象に、首都圏への販路開拓に当たっての課題について、専門家からの個別指導及びセミナーを実施した。

#### ①第1回（個別指導）

開催日 平成28年7月12日～13日

参加者 10名

#### ②第2回（個別指導）

開催日 平成28年7月19日～20日

参加者 17名

#### ③第3回（全体研修）

開催日 平成28年8月31日

参加者 18名

#### ④販路開拓セミナー「地域の強みを活かしたブランドづくり」

開催日 平成28年10月19日

講師 株式会社TRUNK 代表取締役 桐山 登士樹 氏

参加者 35名



# 《伝統工芸産業の振興》

## (3) 商品選定アドバイスの実施

テスト販売に向け、専門家による個別訪問等により、商品開発・選定アドバイスを実施した。

### ①第1回 個別指導

開催日 平成28年9月14日

参加者 7名

### ②第2回 個別指導

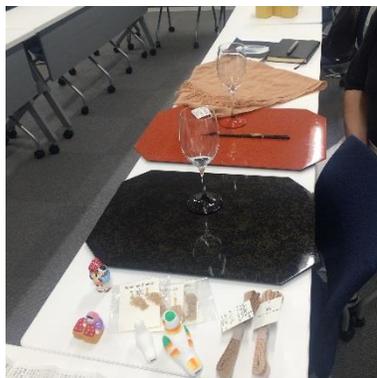
開催日 平成28年9月23日

参加者 16名

### ③商品選定会及び個別指導

開催日 平成28年10月19日～20日

参加者 18名



▲PR冊子



▲店内POP

## (4) テストマーケティングの実施

外国人観光客も多く訪れる首都圏の工芸品販売店において12月の1ヶ月間、テスト販売及びPRを行った。

### ①テスト販売「青森展」概要

◆期間 平成28年12月1日～31日

◆場所 東京ミッドタウン ガレリア3階 「THE COVER NIPPON」

◆出品商品 14事業者 約100商品

◆売上点数 約400点

◆売上総額 2,149千円

◆来場者数 24,066人

◆PR方法 PR冊子(カラーA5判 10,000部)の作成・配布  
東京ミッドタウン館内モニターでの情報発信  
店舗HPによる情報配信



▲テスト販売「青森展」の様子





## 1 伝統的工芸品振興事業 29年度当初予算額 410千円

県内の伝統工芸の振興を図り、産地の自立的発展を促進するため、従事者の意識向上と工芸品のPRに資する各種施策を実施するとともに、関係団体が行う伝統工芸振興事業に対して支援を行います。

### (1) 伝統工芸品の指定及び伝統工芸士の認定

青森県伝統工芸指定審査会を運営し、伝統工芸品及び伝統工芸士の認定を行います。

### (2) 伝統工芸振興事業への支援

関係団体が行う伝統工芸振興事業への支援を行うほか、各種イベントでの伝統工芸品パンフレットの配布等を行います。

## 2 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業(平成28～29年度) 29年度当初予算額 6,360千円

青森県の伝統工芸品等の販路開拓に意欲がある県内工芸品製造者等を対象に、消費者ニーズに直結した商品開発・改良や、流通、販売、フォローアップまでトータルで支援することで、首都圏における県内工芸品等の認知度と商品競争力の向上を図ります。

### (1) 販路開拓等に向けた研修会の開催

首都圏に向けた販路開拓を進めるに当たっての課題の整理を行った上で、必要なマーケティング、商品開発・改良、流通、販売等に係る幅広いノウハウについて、専門家からのアドバイスを実施します。

### (2) テストマーケティングの実施

#### ① 事前指導の実施

首都圏でのテストマーケティングの実施に向け、平成28年度の事例報告やアドバイスを行う事前説明会及び商品選定会を開催します。

#### ② テストマーケティングの実施

外国人観光客も訪れる首都圏の工芸品販売店において、約1ヶ月間のテストマーケティングを実施するとともに、首都圏消費者等に広く情報発信します。

#### ③ フィードバック研修会の開催

テストマーケティングにおける結果を分析し、参加者にフィードバックするとともに、更なるブラッシュアップに向けたアドバイスを行います。

# 伝統工芸品等首都圏マーケティング事業(6,360千円)

商工労働部  
地域産業課

【戦略キーワード】  
地域資源をとことん生かした  
魅力ある「しごとづくり」

本県伝統工芸品等の販路開拓に意欲がある県内工芸品製造者等を対象に、消費者ニーズに直結した商品開発・改良や、流通、販売、フォローアップまでトータルで支援することで、首都圏における県内工芸品等の認知度と商品競争力の向上を図る。

## 現状・課題

### 本県工芸品を取り巻く現状

- ◆生活様式の変化や安価な量産品の拡大により、全国的に伝統工芸品産業は低迷している。  
しかし、外国人観光客の増加により日本の伝統的文化や産業が再認識されており、2020年東京オリンピック開催も追い風に、工芸品産業の活性化に向けた取組を行う好機。
- ◆首都圏での本県の伝統工芸品等は一般的に認知度が低いが、「こぎん刺し」が首都圏百貨店の催事で取り上げられるなど、注目を浴び始めている。

### 課題1 首都圏での認知度向上

- ◆平成26-27「伝統工芸価値再発見プロモーション促進事業」により、県内での認知度獲得には一定の成果。
- ◆首都圏での認知度はまだまだ十分ではなく、販売促進・PR活動を強化していく必要がある。

### 課題2 首都圏向け商品開発の強化

- ◆首都圏消費者や外国人観光客のニーズを踏まえた商品開発を行う必要がある。
- ◆首都圏のマーケットでも通用する商品競争力を高める必要がある。

### 課題3 販路開拓の意欲向上

- ◆人員・資金面などの理由から、県外での販路開拓に取り組む経験が少ない工芸品製造者に対して経験の場を提供し意欲の向上を図るとともに、販路開拓に当たっての課題解決に向けた検討が必要。

## 事業内容

### 概要

首都圏、外国人観光客のマーケットを見据えた商品開発及び販路開拓につなげるため、意欲がある事業者を対象に、販路開拓等に当たっての課題解決に向けた研修を実施した上で、首都圏においてテストマーケティングを実施し、成果を広く周知する。【事業期間】平成28～29年度

### 取組1 販路開拓等に向けた研修会(774千円)

意欲のある事業者の販路開拓に当たっての課題の整理及び課題解決の方向性等について、専門家の助言を得ながら検討する。(年3回)

### 取組2 テストマーケティングの実施(5,586千円)

#### ●事前指導の実施

テストマーケティングの実施に向け、H28年度の事例報告やアドバイスを行う事前説明会及び商品選定会を実施する。  
【開催場所】青森市、弘前市、八戸市(各市15名程度)

#### ●テストマーケティングの実施

外国人観光客も多く訪れる首都圏の工芸品販売店においてテストマーケティングを実施し、PRする。  
【実施場所】集客力のある首都圏の工芸品販売店  
【実施期間】約1ヶ月間×1回  
※H28テストマーケティングの結果を踏まえブラッシュアップを行った成果を実証する。

#### ●フィードバック研修会の実施

テストマーケティングの結果を受けて、参加者に必要なアドバイスを行うための研修会及び個別指導を実施する。

## 事業効果

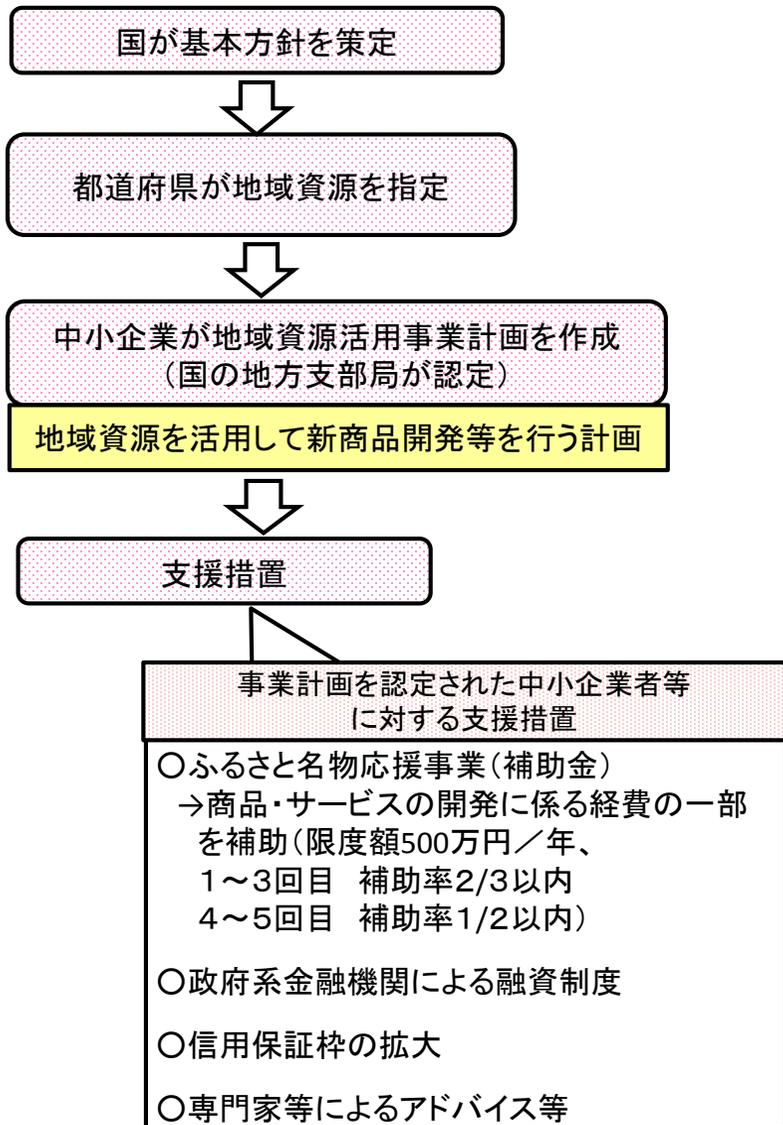
- 首都圏等の消費者ニーズに直結した商品開発
- 首都圏における本県工芸品の認知度アップ
- 首都圏への販路開拓
- 本県工芸品の商品競争力の底上げ



- 販路拡大
- 外貨獲得
- 青森ブランドの確立
- 伝統工芸品産業の活性化

# 《中小企業地域資源活用プログラムによる支援》

## 中小企業地域資源活用プログラム



## 「地域資源」とは

- (1) 地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物や鉱工業品
- (2) 地域の特産物である鉱工業品の生産に係る技術
- (3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域観光資源として相当程度認識されているもの

青森県の地域産業資源 【平成29年4月1日現在】

農林水産物	鉱工業品	観光資源	合計
122	85	108	315

東北各県の計画認定件数 (平成29年4月1日現在)

東北地域合計	141件
青森県	35件
岩手県	17件
秋田県	16件
宮城県	23件
山形県	32件
福島県	18件

# 《中小企業地域資源活用プログラムによる支援》

## 地域資源活用事業認定計画認定事業者

認定年度	事業者名	活用する地域資源	認定年度	事業者名	活用する地域資源
19	ブナコ漆器製造(株)(弘前市)	ブナ材	25	(株)今井産業(平川市)	りんご、杉材
20	(株)ディメール(八戸市)	サバ		(株)ツガルサイコー(黒石市)	お山のおもしえ学校
	(株)スパン・ライフ(八戸市)	にんにく		(有)柏崎青果(おいらせ町)	ごぼう
	十和田おいらせ農業協同組合(十和田市)	にんにく		(有)村口産業(風間浦村)	青森ヒバ
	(有)十和田乗馬倶楽部(十和田市)	乗馬場		なんぶ農援(株)(南部町)	妙丹柿
21	(有)田向商店(青森市)	サメ	26	つがるりんごセラミド(株)(弘前市)	りんご
	ミリオン(株)(青森市)	ながいも		(有)サンマモルワイナリー(むつ市)	りんご
	青い森国土保全協同組合(つがる市)	杉		河野商店(むつ市)	アピオス
22	(有)ゆめりんご(弘前市)	岩木山	27	(有)十和田乗馬倶楽部(十和田市)	流鏝馬
	(有)蔦温泉旅館(十和田市)	蔦温泉		(有)島木材工業(大間市)	青森ヒバ
23	(有)イシオカ工芸(弘前市)	津軽塗		日本ハルマ(株)(弘前市)	りんご
	(有)アラコウ水産(平内町)	ホタテ・ナマコ		山野りんご(株)(弘前市)	りんご
	農業生産法人合同会社津軽ぶどう楽園(鶴田町)	スチューベン(ぶどう)		(株)北彩屋(むつ市)	ニジマス、イカ
	(株)駒嶺商店(風間浦村)	あんこう	28	(株)エビサワ農園(東北町)	ヤーコン、にんにく
24	あおもり藍産業協同組合(青森市)	藍		Yプロジェクト(株)(大間町)	あわび、イカ、うに、大間マグロ、こんぶ、サクラマス、ツルアラメ、青森ヒバ、大間港、大間崎、大函丸
	三浦醸造(青森市)	りんご		(有)こめいち奥本商店(佐井村)	ナマコ
	熊谷食品(株)(弘前市)	津軽の漬物			
	農業生産法人四季菜にんにく(株)(三戸町)	にんにく			
	(株)菊駒酒造(五戸町)	青森県の日本酒			